

2010年1月12日の静岡新聞で紹介されました。

介護記録など共有

総合ネットワークシステム導入
利用者サービス向上へ

天竜厚生会

浜松市天竜区の天竜厚生会はこのほど、利用者の介護記録やケアプランなどの情報を関係事業所で共有する総合ネットワークシステムを導入した。職員の記録業務の省力化などにもつながり、利用者へのきめ細かな対応ができるようになるという。

天竜厚生会の特別養護老人ホームやケアサポートセンター、訪問介護事



利用者と雑談しながら新システムを使う介護職員
(左)＝浜松市天竜区の特別養護老人ホーム「百々山」

業所、デイサービスセンターなど約40施設を対象に、パソコン140台、手のひらサイズの携帯情報端末(PDA)105台を配備した。

PDAの導入によって、介護職員が利用者のそばで記録業務ができるようになり、利用者と接する時間が増加。利用者の家族への情報提供もスムーズにできるようにな

ったという。情報をデータベース化したことで、各施設の連携強化や介護ノウハウの向上も期待できる。

永田一宏高齢者支援事業部長は導入して以来、さまざまな施設、職種間のやりとりが活発になっている。今後もサービスの向上に努めていきたい」と語った。